

調査実施要領

1. 調査の経緯

- ・「学校施設等における吹き付けアスベスト等の対策状況フォローアップ調査等の結果について（通知）」（平成 20 年 12 月 25 日付 20 文科施第 395 号）により、吹き付けアスベスト等の使用実態調査が未完了であった機関について、調査の早期完了（平成 20 年度末を目途）について通知しており、その完了状況について調査を実施する。

2. 調査対象機関・調査内容

- ・別紙 2 を参考に、平成 20 年 10 月 1 日時点で学校施設等における吹き付けアスベスト等使用実態調査が、未完了であった 11,544 機関は、使用実態調査の完了状況について調査表（別添）に記入する。
- ・平成 20 年 10 月 1 日時点で使用実態調査が完了していた機関は提出の必要はない。

3. 調査時点

- ・平成 21 年 3 月 31 日時点

4. 調査表提出先

- ・調査表（別添）の提出先は、別紙 3 による。

5. 提出期限

- ・平成 21 年 5 月 15 日（金曜日）

6. 調査表記入方法

1) 対象機関について

- A、B から該当する機関区分をチェックし、A に該当する場合は都道府県名、B に該当する場合は機関（学校）名を記入する。

2) 調査の完了状況について

- a～d について記入する。

- a：平成 20 年 10 月 1 日時点で調査が未完了であった機関数
- b：a のうち平成 21 年 3 月 31 日時点で調査が完了した機関数
- c：a のうち統廃合など、平成 21 年 3 月 31 日時点で増減のあった機関数
- d：平成 21 年 3 月 31 日時点で調査が未完了の機関数

3) 使用実態調査完了予定時期とその理由について

- 平成 21 年 3 月 31 日時点において、使用実態調査が未完了の場合に記入する。（d に該当する分）
- 調査完了予定時期とその理由を記入する。
 - ※調査完了時期の年月ごとに記入する。
 - ※同一理由の機関がある場合は、理由の後に機関数を記入する。

（記入例）

調査完了時期	機関数	理由
平成 21 年 8 月	7	夏季休業時に調査を行う予定。（4） 公共施設全体調査を一斉に実施する計画のため。（3）